CORONA

コロナルームエアコン
（冷暖房兼用ウインドタイプ）

取扱説明書

シー ダブル エイチ　エイ
CWH-A1811

換気（排気）機能搭載

オートドレンタイプ
ドレン工事が必要となります。

このたびは、コロナルームエアコンをお買いあげいただきましてありがとうございました。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、それぞれの性能を十分にお心得になったうえで正しくご使用ください。なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に「保証書」とともに大切に保管してください。

この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed and manufactured for use only in Japan. In another country which differs in voltage and frequency of the power supply from Japan, this product cannot be used and any after-sales service is not available.

冷暖房のめやす

(50/60Hz)

木　　造	冷　房	4.5／5畳（7／8m²）
	暖　房	4／5畳（7／8m²）
コンクリート	冷　房	7／8畳（11／12m²）
	暖　房	5／6畳（8／10m²）

もくじ

1 安全上のご注意（必ずお守りください）

●ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

○表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	〝取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること〟を示します。
⚠注意	〝取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること〟を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

○図記号の説明

図記号	図　記　号　の　意　味
⃠	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
●	指示する行為を強制（必ず守ること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

据え付け時のご注意

⚠警告

漏電しゃ断器を取り付ける

漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電、火災の原因になります。
お買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。

必ず守る

電気工事が必要な場合は、お買いあげの販売店または専門業者に依頼する

配線などに不備があると漏電や火災の原因になります。

必ず守る

据え付けは据付説明書にしたがい確実におこなう

据え付けが不完全な場合は、水もれや、感電、火災、エアコン落下によるケガの原因になります。

必ず守る

アース（接地）を確実におこなう

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アース（接地）が不確実な場合は、故障や漏電のときに感電する原因になります。

アース工事

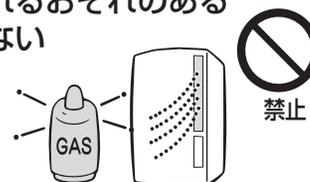
据え付けは強度が十分な場所を選定し、説明書どおりにおこなう

据え付けに不備があるとエアコンの落下によるケガや騒音・振動が増大する原因になります。

必ず守る

⚠注意

可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない

万一ガスがもれてエアコンの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

禁止

ドレンホースは、確実に排水するように配管する

不確実な場合は屋内に浸水し、家財などをぬらす原因になることがあります。

必ず守る

移設・修理時のご注意

⚠警告

修理は、お買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口に依頼する

修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

必ず守る

エアコンを移動再設置する場合などは、据付説明書にしたがい確実におこなう

据え付け不備があると、水もれや、感電、火災、エアコン落下によるケガの原因になります。

必ず守る

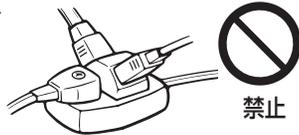
■据え付けに関する詳細については、4ページの「**据え付け**」の項目をごらんください。
■修理については、13・14ページの「**このようなときには**」や「**修理・保証**」の項目をごらんください。

安全に使っていただくためのご注意

⚠警告

電源コードの途中での接続、延長コードの使用、タコ足配線はしない

感電や発熱・火災の原因になります。

禁止

吹出口、吸込口に指や棒などを入れない

内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。また、吹出口に指や棒などを入れると感電や故障の原因になります。

禁止

電源プラグは、電源プラグ側だけでなくコンセント側にもほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差しこむ

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。
コンセントにがたつきがある場合は、お買いあげの販売店または専門業者に修理を依頼してください。

必ず守る

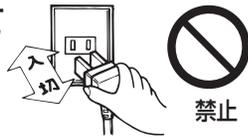
エアコンが冷えない、暖まらない場合は、冷媒のもれが原因のひとつとして考えられるので、お買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口に相談する

エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常もれることはありませんが、万一冷媒が室内にもれ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒な生成物が発生する原因になります。

必ず守る

運転中に、電源プラグを抜いて停止しない

感電や火災の原因になります。

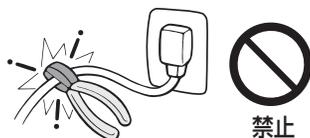
禁止

長時間冷風を身体に直接あてたり、冷やしすぎない

体調悪化・健康障害の原因になります。

禁止

電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、重い物をのせたり、加熱や加工したりしない

電源コードが破損して、感電や発熱・火災の原因になります。

禁止

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源プラグを抜き修理を依頼する

異常のまま運転を続けると故障や感電、火災などの原因になります。
お買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口に依頼してください。

プラグを抜く

エアコン内部の洗浄はお客様自身ではおこなわず、必ずお買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口に相談する

誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄をおこなうと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になることがあります。
また、洗浄剤が電気部品やモータにかかると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。

必ず守る

⚠注意

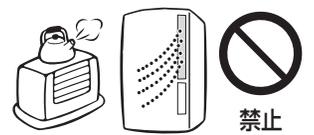
電源プラグを抜くときは、コードを引っ張って抜かない

芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。

禁止

エアコンの風が直接あたる所で燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

禁止

長期間使用しない場合は電源プラグを抜く

ほこりがたまって発熱・発火の原因になることがあります。

プラグを抜く

エアコンを水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせない

漏電によって感電や発火の原因になることがあります。

水ぬれ禁止

お手入れするときは必ずスイッチを「停止」にし、プラグも抜く

内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。

プラグを抜く

長期使用で傷んだままの取付枠などで使用しない

エアコンの落下・転倒につながり、ケガなどの原因になることがあります。

禁止

燃焼器具と併用するときは、こまめに換気する

換気が不十分な場合は、酸素不足により不完全燃焼の原因になることがあります。

必ず守る

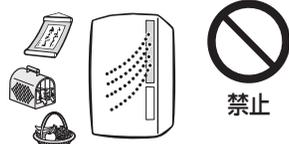
動植物に直接風をあてない

動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

禁止

特殊用途には使用しない

食品・精密機器・美術品の保存や、動植物の飼育・栽培などには使用しないでください。
食品の品質低下などの原因になることがあります。

禁止

ぬれた手でスイッチを操作しない

感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

エアコンのアルミフィンにさわらない

ケガの原因になることがあります。

接触禁止

⚠注意

運転中は、窓を閉めて吹出口をふさがない

温風で窓ガラス破損の原因になることがあります。

禁止

吸込口や吹出口をふさがない

能力低下や故障の原因になることがあります。

禁止

エアコンの下に他の電気製品や家具などを置かない

水滴が滴下する場合があり、汚損や故障の原因になることがあります。

禁止

取りはずすときは、エアコンを傾けない

内部にたまっている水が滴下して家財などをぬらす原因になることがあります。

禁止

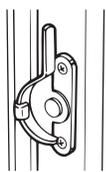
豪雨や台風のときは、運転を停止して窓を閉める

運転のため窓を開けたままにすると、室内に浸水して家財をぬらす原因になることがあります。

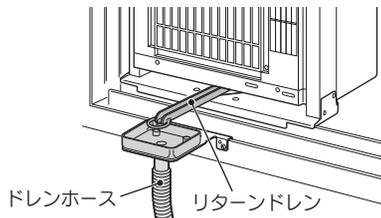
必ず守る

外出するとき

外出するときには窓を閉め、必ず鍵をかけてください。

必ず守る

ドレン排水路の確認

エアコン運転時は窓を開けて取付枠のリターンドレンが出ているか確認してください。

必ず守る

■次のような使用はさけてください

- ■水蒸気が発生する場所での運転
- ■窓やドアを開けたままでの運転
- ■適室より大きい部屋での運転

2 省エネのためのじょうずな使いかた

エアフィルタの掃除はこまめに

エアフィルタの目づまりは冷房・暖房能力を弱め、電気代がムダになります。２週間に一度はぜひお掃除をしてください。また、エアフィルタを付け忘れると、エアコン内部が汚れ、故障の原因になります。

吸込口・吹出口をふさがない

あみ戸・カーテン・すだれなどの障害物があると、エアコンの性能が低下したり、保護装置がはたらいて運転できないことがあります。

室内温度は適温に

冷やしすぎや暖めすぎは健康によくありません。また、電気のムダ使いにもなります。
特に身体のご不自由な方や乳幼児、お子さま、お年寄り、ご病気の方などがご使用の場合は、周囲の方が常に注意して、快適な室温に調節してあげてください。

風向調節をじょうずに

室温がむらにならないように風向を調節してください。
ルーバーは必ず開けて使用してください。
また､ルーバーで吹出口をふさぐようにして長時間､冷房・ドライ運転をしますとルーバーの表面やエアコン本体に露が付き滴下することがありますのでご注意ください。

タイマーを有効に

おやすみ時など、タイマーを有効に利用し、必要なときだけ運転するようにしましょう。電気のムダが省けます。

窓にはカーテンやブラインドを

冬の日中は日光を入れ、夜間はカーテンやブラインドで熱のもれを防ぎましょう。
直射日光を防ぐと省エネ効果があります。

3 据え付け

⚠警告 据え付けは強度が十分な場所を選定し、据付説明書にしたがって確実におこなってください。
据え付けが不完全な場合は、水もれや、感電、火災、エアコン落下によるケガの原因になります。
また、騒音や振動の増大する原因になります。

据え付け場所

■このような場所への設置はさけてください

- ■油煙や蒸気にさらされる場所
- ■ドレン水を円滑に排水できない場所
  - ■特に寒冷地では除霜排水が室外側に氷結して性能の低下・故障などの原因になることがありますのでご注意ください。
- ■機械加工工場など、機械油の多い場所
- ■海岸地区のような塩分の多い場所
- ■温泉地のような硫化ガスの発生する場所
- ■テレビやラジオが 1m以内にある場所
- ■火災報知器が 1.5m以内にある場所
- ■動植物に直接風があたる場所
- ■吸込口や吹出口がふさがれる場所
- ■積雪で室外側の吸込口や吹出口がふさがれてしまう場所
- ■業務用としての使用および車両、船舶など移動するもの

※地域（電波の弱い地域）によっては1m以上離しても雑音が入る場合があります。

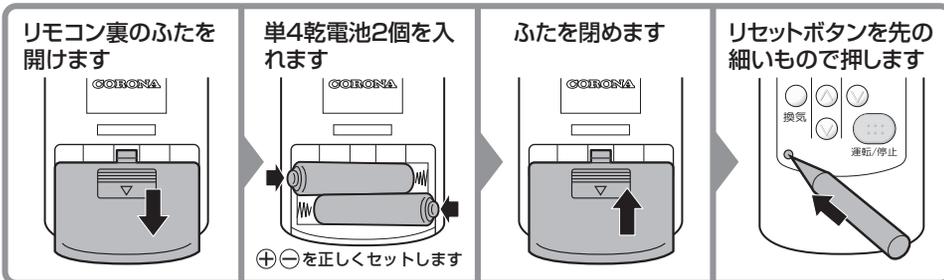
■騒音にもご配慮を

- ■窓の強度が十分で、据付枠にもゆるみがないことを確認してください。（強度不足および据付枠のゆるみがあると、騒音や振動が他へ伝わり増大する原因になります。）
- ■室外側の吹出口の近くに障害物を置きますと、騒音増大のもとになることがあります。
- ■室外側の吹出口からの冷・温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- ■エアコンをご使用中異常音がする場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。

取りはずし・移設

⚠注意	取りはずす前には、エアコン底部の室外ドレン排水口から完全に水を抜き取ってください。	取りはずすときは、エアコンを傾けないでください。	取りはずしたときは、エアコンを横倒し、横積み状態で保管・移動しないでください。故障の原因になります。

4 リモコンご使用の前に

ご使用になる前に付属の乾電池をリモコンに入れてください。

乾電池の交換時期	■液晶表示部がうすくなってきたら、電池が消耗してきています。新しい乾電池に交換してください。
使用乾電池	■単4形（UM-4）1.5V　2個

お知らせ

■通常のご使用で乾電池の寿命は約1年です。
■付属の乾電池は最初に使用するときのためにご用意しているものですので、1年未満で消耗することがあります。

ご注意

乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破れつすることがありますので、つぎの点について特にご注意ください。

■新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
■充電式電池は寸法・性能などに、一部異なる部分がありますので使用しないでください。
■長期間使わないときは、乾電池をリモコンから取りはずしておいてください。

リモコンが使えないとき

リモコンの電池が切れたり、リモコンが見つからないときに、本体の自動運転ボタンで運転 / 停止ができます。

本体の自動運転ボタンを押します。

■現在の室温に合わせた自動運転を開始します。
（☞ 自動運転　9ページ）
■本体の自動運転ボタンでは、運転モード、設定風量、設定温度の変更はできません。
運転内容がお好みに合わないときは、リモコンで操作をおこなってください。

ご注意

■エアコン停止中に、自動運転ボタンを3秒以上押しつづけると、内部乾燥運転を開始しますのでご注意ください。
（☞ 内部乾燥運転　10ページ）

5 各部のなまえとはたらき

6 リモコンのなまえとはたらき

送信部

約5m以内から操作してください。

風量設定ボタン

(☞ 手動運転 10ページ)

タイマー切換ボタン

「連続運転」「切タイマー」「入タイマー」の切り換えをおこないます。

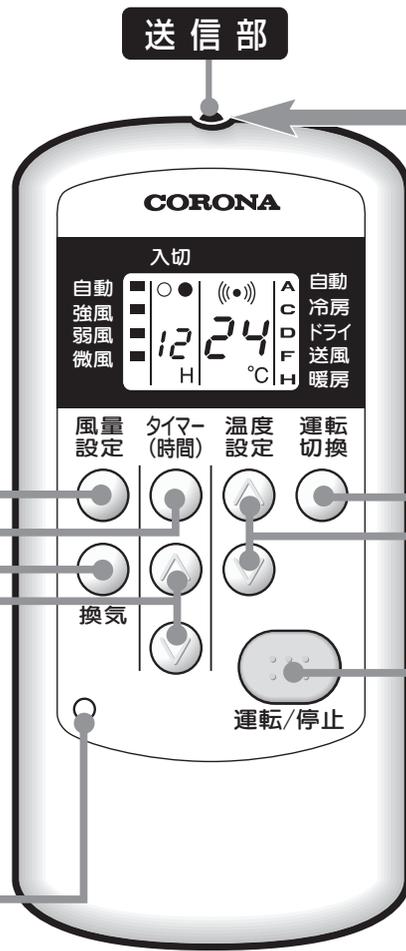
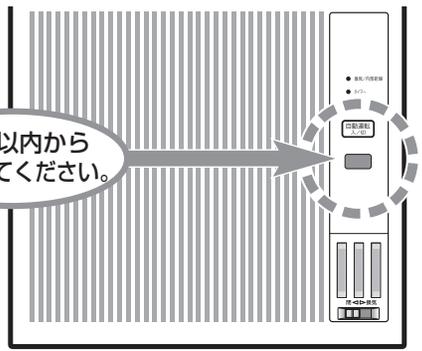
換気ボタン

「自動」「冷房」「ドライ」「送風」「暖房」の運転モードで換気(排気)運転をするときに、このボタンを押してください。
換気運転をやめるときは、再度このボタンを押してください。
※また換気運転時は、エアコン本体の換気レバーを「換気」側にしてください。
(☞ 換気(排気)運転 11ページ)

タイマー時間切換ボタン

1時間から12時間まで1時間単位でタイマー時間の切り換えをおこないます。

リセットボタン

(☞ リモコンご使用の前に 4ページ)

運転切換ボタン

「自動」「冷房」「ドライ」「送風」「暖房」の順番で運転の種類を切り換えます。
(☞ 自動運転 9ページ)
(☞ 手動運転 10ページ)

温度設定ボタン

∧ 設定温度を高く
∨ 設定温度を低く
することができます。
自動運転のときは受付けません。
(☞ 手動運転 10ページ)

運転/停止ボタン

CORONA
入切
自動 強風 弱風 微風
自動 冷房 ドライ 送風 暖房
風量設定 タイマー(時間) 温度設定 運転切換
換気
運転/停止

液晶表示部

タイマー運転表示

タイマー運転中「入タイマー」は○、「切タイマー」は●が点灯します。連続運転時は表示しません。

風量表示

設定風量の位置の■が点灯します。

タイマー時間表示

1時間単位でタイマー時間を表示します。
連続運転時は表示しません。

送信表示

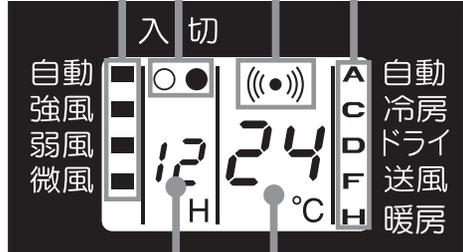
信号送信時に点灯します。

運転モード表示

運転の種類を表示します。
A－「自動」 C－「冷房」
D－「ドライ」 F－「送風」
H－「暖房」

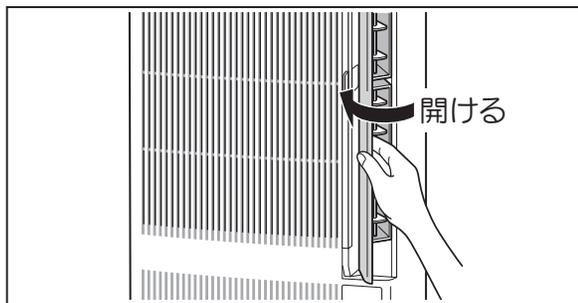
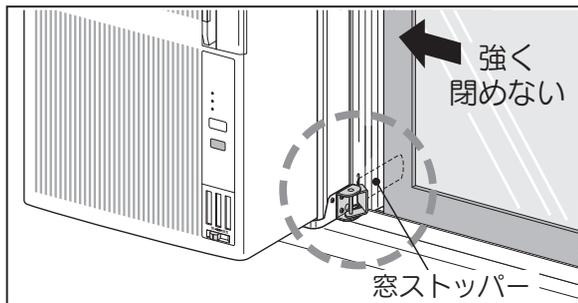
温度表示

設定温度を表示します。
運転モードが「自動」のときは表示しません。

入 切
自動 強風 弱風 微風
自動 冷房 ドライ 送風 暖房

※イラストは説明のため全部点灯・表示した状態にしてあります。

ご注意

■本体受信部とリモコンの間にカーテンなど信号をさえぎる物があると動作しません。
■リモコンを投げたり、落としたりしないでください。また、水などをかけたりしないでください。
■リモコンを直射日光のあたる所や、ストーブなどの近くに置かないでください。
■本体受信部に直射日光があたる場合、エアコンは正しく動作しない場合があります。カーテンなどでさえぎってください。
■電子瞬時点灯方式またはインバータ方式の蛍光灯がある部屋では、リモコンの信号を受付けない場合があります。このようなときは、お買いあげの販売店にご相談ください。
■エアコンは室温センサにより、設定温度にあわせて室温を調整します。
▪室温センサはエアコン周辺の温度を感知していますので、お部屋の温度計とは一致しないことがあります。
▪エアコンに直射日光やすきま風があたっていたり、他の光熱器具の影響を受けている場合は、室温センサが正確に作動しません。

7 ご使用の前に

窓・あみ戸を開けます。

■室外側への放熱のため、窓・あみ戸を開けます。
（窓･あみ戸は途中で止めずに、完全に開けてください。）

窓を窓ストッパーまで閉めます。

■窓を窓ストッパーにあたるまで、ゆっくりと閉めます。

ご注意

■窓の種類により、窓と窓ストッパーのあたる部分が10㎜以下の場合、窓を強く閉めると、取付枠が変形し窓ストッパーが効かない場合がありますのでご注意ください。

吹出口のルーバーを開けます。

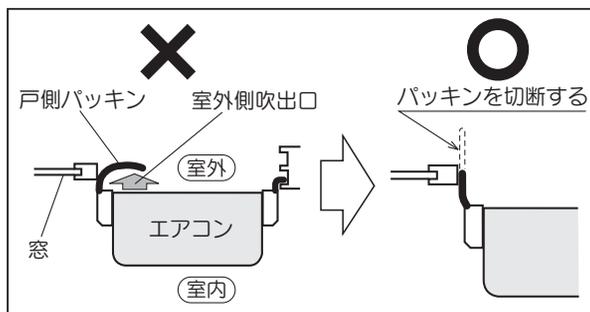
■吹出口のルーバーを使用範囲表示に合わせます。

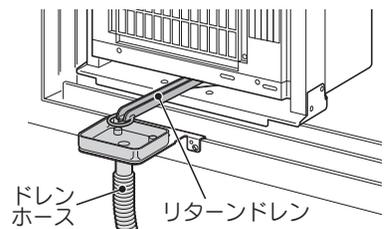
ご注意

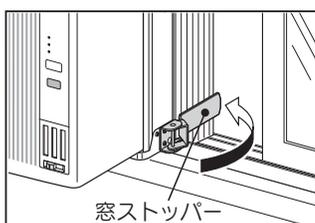
■吹出口のルーバーは、必ず開けて使用してください。
■窓・あみ戸・パッキンで吸込口・吹出口をふさぐと、エアコンの性能が低下したり、保護装置がはたらき本体の運転ランプとタイマーランプが点滅して運転できないことがあります。

窓の右側に据え付けの場合

パッキンが室外側の吹出口をふさいでいませんか

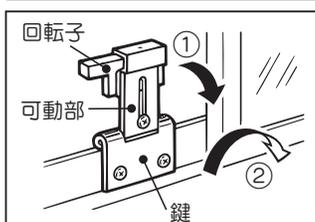
窓よりはみ出した戸側パッキンを切断してあるか確認してください。
はみ出したままですと、室外側吹出口をふさいでしまい、能力不足となり、「冷えない、暖まらない」といった症状の原因になりますので、必ず切断してください。

ドレン排水路の確認

エアコン運転時は窓を開けて取付枠のリターンドレンが出ているか確認してください。

窓ストッパーと鍵の使いかた

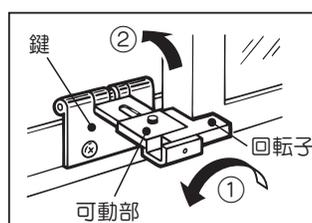
エアコンを運転するとき

窓ストッパーを出します。

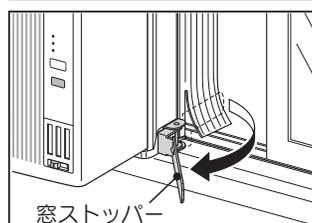
■窓ストッパーを矢印方向に回し室外側に出します。

戸側パッキンを窓ストッパーの外側へ出します。

■切込部から外側にかぶせます。

鍵をかけます。

■可動部を矢印①の方向にたおし、回転子を矢印②の方向に回転させ、反対側引き戸の枠にかけます。

運転を停止して、窓を閉めるとき

鍵をはずします。

■回転子を矢印①の方向へ回転させて、矢印②の方向へ可動部をおこします。

窓ストッパーを入れます。

■エアコン側の窓を開けて窓ストッパーを戸側パッキンからはずし、矢印方向にあたるまで回して室内側に入れます。

ご注意

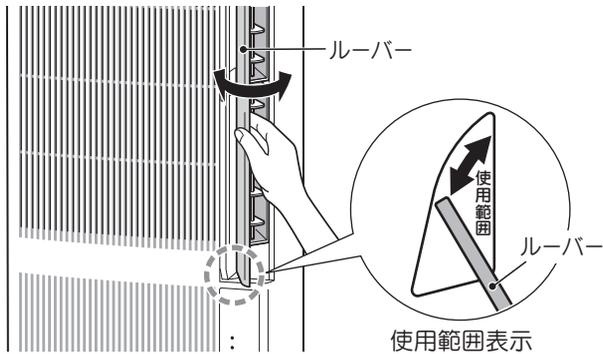
■エアコンを使用しないときは、必ず窓ストッパーを室内側に向けてください。窓の開け閉め時など、窓破損の原因になることがあります。

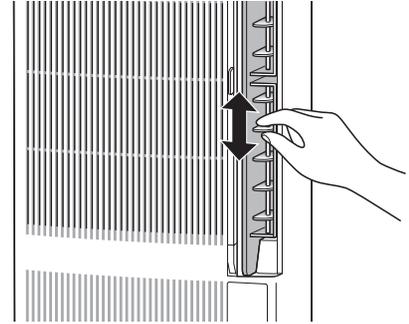
引き戸を閉め窓の鍵をかけます。

8 風向調節

空調効果をより高めるために風向をルーバーで調節してください。

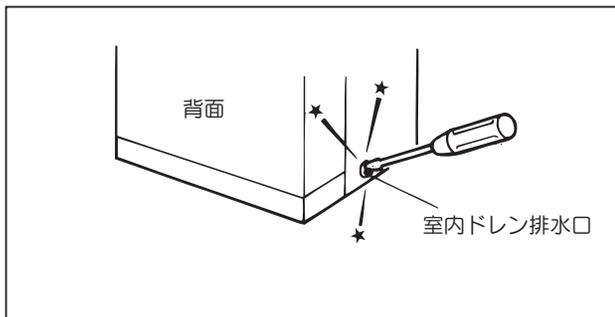
左右ルーバー

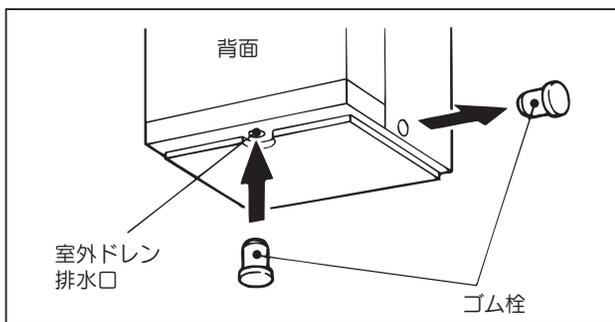
ルーバーの向きについては吹出口下部の使用範囲表示内でお使いください。

上下ルーバー

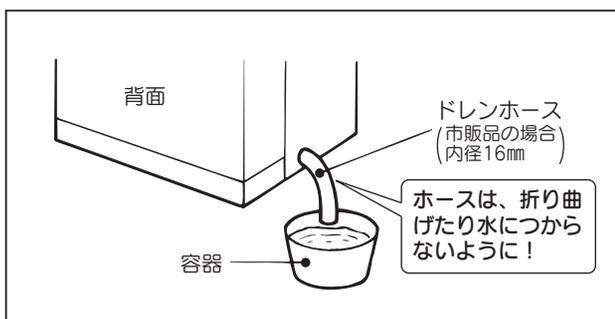
冷房・ドライ運転時はお部屋全体に風がいきわたるように上向きにしてください。
暖房運転時は足元に温風がいくように下向きにしてください。

ご注意

■ルーバーの使用範囲をこえて、冷房・ドライ運転しますとルーバーの表面に露がつき滴下することがあります。
また、暖房運転時には保護装置がはたらき、暖房運転がときどき止まることがありますのでご注意ください。

9 室内側での排水のしかた

室外側へ排水できない場合、室内側での排水処理ができます。

排水口の穴をあける

■室内ドレン排水口のふたをドライバーなどで打ち抜く。

ゴム栓を差し込む

■室内ドレン排水口の中にある黒色のゴム栓を抜き取る。
■抜き取ったゴム栓を室外ドレン排水口にしっかりと差し込む。

排水用ホースを取り付ける

■排水口にホースを差し込む。
■除湿水は容器などで受けてください。

ご注意

■運転停止時でも雨がふったときは雨水が除湿水として出ることがありますので、必ず窓を閉めてください。

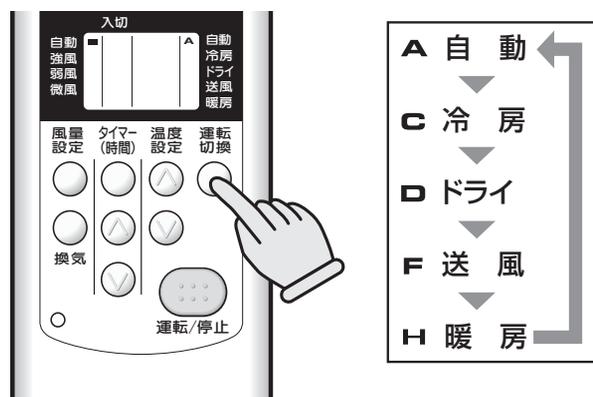
10 自動運転

エアコンが運転開始時の室温に応じて冷房･ドライ･送風・暖房のいずれか1つを自動的に選んで運転を開始します。

運転/停止ボタンを押します。

■リモコン液晶表示部とエアコン本体の運転ランプが点灯し、運転を開始します。

運転切換ボタンで「自動」を選びます。

■運転切換ボタンを押すと、つぎの順番で運転の種類が切り換わります。

エアコンが自動的に選ぶ運転の内容

運転開始時の室温	運 転 の 種 類	設 定 温 度	風　　量
28℃以上のとき	冷　房	26℃	自　　動
26℃～28℃未満のとき	ドライ	25℃	自　　動
24℃～26℃未満のとき		23℃	
23℃～24℃未満のとき	送　風	——	微　　風
23℃未満のとき	暖　房	23℃	自　　動

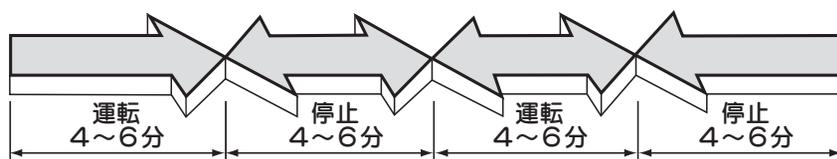
※ドライ運転を選択したときは室温によってはすぐに運転しないこともあります。

ご注意

■自動運転の場合、設定風量・設定温度の変更はできません。運転内容がお好みに合わないときは、手動運転に切り換えて風量・温度を調節してください。
■自動運転では、表示部に設定温度は表示されません。

11 ドライ運転

マイコン制御により、お部屋の温度をあまりさげないで湿気をとります。

■風量表示は消灯し、風量設定ボタンを押しても風量は切り換わりません。運転中、風量は微風で運転します。

室　　温	ドライ運転の内容	
設定温度より２℃以上高い場合	連続に運転	
設定温度から＋２℃までの場合	６分運転 ４分停止をくり返す	停止中は室内送風機も停止する
設定温度以下の場合	４分運転 ６分停止をくり返す	
18℃以下の場合	運転を停止	

12 手動運転（冷房・ドライ・送風・暖房）

冷房・ドライ・送風・暖房運転をお好みにより選択できます。一度セットすると、次回からは運転 / 停止ボタンを押すだけで同じ内容の運転ができます。

運転/停止ボタンを押します。

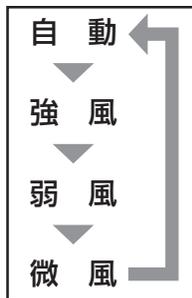
■リモコン液晶表示部とエアコン本体の運転ランプが点灯し、運転を開始します。

運転切換ボタンを押し、運転の種類を選びます。

■運転切換ボタンを押すと、つぎの順番で運転の種類が切り換わります。

風量を変えたいときは……

風量設定ボタンを押します。

■風量設定ボタンを押すと、つぎの順序で風量が切り換わります。

■風量「自動」では室温に応じ風の強さが自動的に変わります。

■ドライ運転のときは風量設定は「自動」を表示し微風で運転します。

設定温度を変えたいときは…

∧ ボタンを押すと設定温度があがり、∨ ボタンを押すと設定温度がさがります。（1℃刻み）

設定温度範囲とおすすめ温度

室温と外気温との差が大きくなりすぎると健康によくありません。おすすめ温度の範囲でのご使用が理想的です。

運転の種類	冷房	ドライ	送風	暖房
おすすめ温度	26～28℃	室温より1～2℃低め	――	20～24℃
設定範囲	20～30℃			17～30℃

ご注意

■リモコンは必ず本体に向けて操作してください。

■湿度が高いときに長時間冷房・ドライ運転をすると、エアコンの吹出口付近に露が付き滴下することがあります。

13 内部乾燥運転

運転後や長期間お使いにならないときに内部乾燥運転をすると、エアコン内部を乾燥させ、いやなにおいの原因となるカビや細菌の繁殖をおさえます。内部乾燥運転中は、換気（排気）運転を同時におこないます。

エアコン本体の換気レバーを「換気」にし、窓・あみ戸を開けます。

▼

エアコン停止中に本体表示部の自動運転ボタンを3秒以上押すと、内部乾燥運転を開始します。

■内部乾燥運転中は、「換気 / 内部乾燥ランプ」が点灯します。

■内部乾燥運転は、運転開始約 60 分後に自動停止します。

■内部乾燥運転を途中で停止したいときは、自動運転ボタンを押すか、リモコンの運転 / 停止ボタンを押してください。

■内部乾燥運転中は換気（排気）運転を同時におこなうため、一旦室内放出された湿気は室外へ排気されますが、多少湿気が上がることがあります。

※換気（排気）運転併用をやめたいときは内部乾燥運転中に自動運転ボタンを3秒以上押してください。

ご注意

■外気温10℃以上で使用してください。10℃以下で使用されますと、窓枠などに露が付き、滴下することがあります。

■内部乾燥運転は、すでに発生したカビや雑菌を除去するはたらきや殺菌効果はありません。

■内部乾燥運転をしないときには、必ず換気レバーを閉にしてください。

冷房シーズン終了時にはカビの発生をおさえるために、内部乾燥運転をおこない、内部をよく乾燥させてください。

14 換気(排気)運転

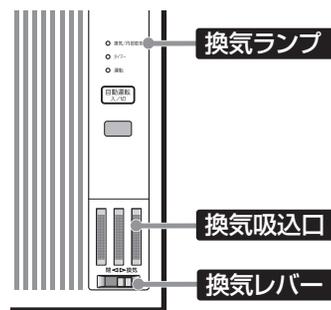
換気(排気)運転することで、室内の汚れた空気を室外に排出することができます。

換気運転のしかた

■エアコン本体の換気レバーを「換気」にします。

■窓・あみ戸を開けます。

■「自動」「冷房」「ドライ」「送風」「暖房」運転モード中に、換気ボタンを押します。

■エアコンの「換気 / 内部乾燥ランプ」が点灯し、換気運転になります。
■換気運転中は各運転モードにおいて、室外ファンが常に運転し、換気をおこないます。

やめるときは……　換気ボタンを押します。

■エアコンの「換気/内部乾燥ランプ」が消灯し、換気運転を終了し、通常の運転に戻ります。

ご注意

■燃焼器具などの使用時は、換気（排気）運転による換気量だけでは不十分ですので、必ずときどき新鮮な空気を取り入れて換気してください。
■外気温 10℃以上で使用してください。10℃以下で使用されますと、窓枠などに露が付き、滴下することがあります。
■換気運転をしないときには、必ず換気レバーを閉にしてください。

15 タイマー運転

タイマーをじょうずに使って必要な時間だけ運転するようにしましょう。

切タイマー（運転 ➡ 停止）のセット

タイマー切換ボタンを押します。
つぎの順番に表示が切り換わります。

「切」● を選択します。

●エアコン本体のタイマーランプが点灯します。

時間をセットします。

Ⓐ・Ⓥボタンを押してエアコンを停止させたい時間に合わせます。（表示の時間後にエアコンの運転を停止します。）

セット終了です。

※セット時間は記憶されます。
※1時間から12時間まで１時間単位でセットできます。

切タイマーをセットしますと、通常の設定温度に対し右記のように設定温度を変更します。
おやすみ中は体温調節機能が低下しますので、冷えすぎ、暖めすぎのないように室温コントロールし、同時に電気代も節約することを目的としています。

	切タイマー運転開始 1時間後の設定温度	切タイマー運転開始 2時間後の設定温度
暖房時	約2℃低め	約4℃低め
冷房時	約1℃高め	約2℃高め

（2時間後以降は、2時間後の設定温度と同じままとなります。）

入タイマー（停止 ➡ 運転）のセット

タイマー切換ボタンを押します。
つぎの順番に表示が切り換わります。

「入」○ を選択します。

●エアコン本体のタイマーランプが点灯します。

時間をセットします。

Ⓐ・Ⓥボタンを押してエアコンを運転させたい時間に合わせます。（表示の時間後にエアコンの運転を開始します。）

セット終了です。

※セット時間は記憶されます。
※1時間から12時間まで１時間単位でセットできます。

タイマーセットの 取消

再度、タイマー切換ボタンを押して連続運転にします。

「切」●**タイマーのとき** ⇨ ●とタイマー時間の表示は消えます。（2回押し）
「入」○**タイマーのとき** ⇨ ○とタイマー時間の表示は消え運転を開始します。

●エアコン本体のタイマーランプが消灯します。

ご注意

■タイマー運転中に停電があったときは、通電が再開したらタイマーを再度設定してください。
■電池交換をすると切タイマーは1時間、入タイマーは6時間の設定となりますので再度設定をしてください。

16 エアコンの運転と性能について

3分間保護について

■運転停止後すぐに再度運転すると、エアコンを保護するため、約３分間経過してから運転を開始します。

除霜運転

■暖房運転中、室外側に霜が付いた場合、暖房効果を高めるために、自動的に除霜運転（約２～15分間）になります。
■除霜運転中は室内側、室外側の送風機は停止します。
■除霜運転をしますと、ドレン水が室外ドレン排水口から流れ出ます。
■除霜終了後は、通常の暖房運転となります。

エアコンの運転条件

エアコンを正しく使っていただくために次の条件で運転してください。

冷房運転 ドライ運転	外気の温度／約21℃以上　43℃以下 部屋の温度／約21℃以上　32℃以下 部屋の湿度／80％以下 80％をこえた状態で長時間運転するとエアコンの表面に露が付き滴下することがあります。
暖房運転	外気の温度／約21℃以下 部屋の温度／約28℃以下

上記以外の条件で長時間運転されますと保護装置がはたらき運転できないことがあります。

室内送風機の運転

■風量設定を「自動」にしますと、室温により自動的に風の強さが切り換わります。

暖房能力について

■暖房は室外の熱を吸収し、室内に放出するヒートポンプ方式ですので外気温が下がると、暖房能力は低下します。外気温が低いときは、他の暖房器具との併用をおすすめします。
ヒートポンプ方式エアコンはお部屋全体を暖める温風循環方式ですので、暖房運転を開始してから暖まるまでしばらく時間がかかります。

暖房運転の特性

■冷風防止のため、室内熱交換器が暖まってから温風を吹き出しますので、運転開始後約５分間は温風が出ません。
■室内温度が設定温度になると、自動的に風量をおさえた運転になります。
■運転中、外気温が高いときには室外側の送風機が停止することがあります。

アルミフィンの変色について

■熱交換器に使用しているアルミフィンは性能向上のため、樹脂の表面処理を実施しています。銅管のロー付けの際の熱により一部変色をしていますが、性能および耐食性など何ら影響ありません。

17 お手入れのしかた

⚠警告	**エアコン内部の洗浄はお客様自身ではおこなわず、必ずお買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄をおこなうと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になることがあります。また、洗浄剤が電気部品やモータにかかると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。**

⚠注意	**お手入れをするときは、必ず運転を停止し、電源プラグも抜いてからおこなってください。内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になることがあります。**

エアフィルタのお手入れ

■エアフィルタにほこりがつまると風量が減少し、能力が低下します。２週間に一度はお手入れをしてください。

■エアフィルタの取り出しかた
つまみを軽く持って右側へ引き出してください。

■エアフィルタの掃除
掃除機を使用するか、軽くたたいてください。汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。
洗ったあとは、よくすすぎ日陰で乾かしてから、もとどおり取り付けてください。

本体のお手入れ

■エアコン本体やリモコンは、やわらかい布でからぶきしてください。
■汚れがひどいときは､40℃以下のぬるま湯か水でかたくしぼった布などでふいてください。絶対に水をかけないでください。
■ベンジン、シンナー、みがき粉、化学ぞうきんなどは、変形や変色の原因となりますので使用しないでください。
■換気吸込口にほこりがつまると、換気性能が低下します。
1カ月に1度は掃除機などにより掃除してください。

使い始めるとき

■アース線が断線したり、はずれていないか確認します。
■運転中は、窓を閉めて吹出口をふさがないでください。
温風で窓ガラス破損の原因になることがあります。
■電源プラグを差しこみます。
■リモコンに電池を入れます。

長期間使わないとき

■内部乾燥運転をして内部をよく乾燥させます。
（☞ 内部乾燥運転　10ページ）
■内部乾燥運転終了後、電源プラグを抜きます。
■エアフィルタを掃除してもとどおり取り付けます。
■リモコンの電池を取り出します。

お願い

■エアフィルタをはずしたまま運転するとゴミが付着し、故障の原因になります。
■製品は必ず正立で運搬・保管してください。
■シーズンオフなどエアコンを取りはずす前には、エアコン底部の室外ドレン排水口から完全に水を抜き取ってください。

点検整備のおすすめ

エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては、においが発生したり、ゴミ・ほこりなどにより除湿水の処理が悪くなり、水もれの原因になることがあります。エアコンを長持ちさせるために、通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。点検整備は､お買いあげの販売店または､お近くのコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。

18 このようなときには

修理・サービスをお申しつけになる前に次の点をお調べください。

	症状	原因・処置方法
故障ではありません	部屋がにおう	■壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみこんでいるにおいが出てくるためです。
	"シュー""シュー"、"ピシ""ピシ"という音がする	■"シュー""シュー"と水の流れるような音は管の中を流れる冷媒の音です。 ■"ピシ""ピシ"音は温度の変化によって部品が伸び縮みするときの音です。
	ときどき"ブシュ"という音がする	■霜取り運転開始および終了時に電磁弁が作動する音です。
	室外側から白い霧状の湯気が出る	■自動的に室外側の送風機が停止し、霜取りをおこなっています。
	室外ファンのみ運転停止を繰返す	■外気温が高いときや、電圧が低いときに機械を保護するためです。
もう一度お調べください	運転しない	■停電ではありませんか。 ■ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ■電源プラグがはずれていませんか。 ■リモコンの電池が切れていませんか。
	よく冷えない よく暖まらない	■室外側の吸込口や吹出口を窓・あみ戸・パッキン等でふさいでいませんか。 ■エアフィルタにほこりやゴミがつまっていませんか。 ■左右ルーバーで吹出口をふさいでいませんか。 ■上下ルーバーが適正な位置になっていますか。 ■送風運転になっていませんか。 ■ドアや窓が開いていませんか。 ■風量設定が「微風」になっていませんか。 ■温度設定が適正な温度になっていますか。 ■エアコン背面の窓が閉まっていませんか。
	本体の運転ランプとタイマーランプが同時点滅し機具が停止する	■エアコン背面の窓が閉まっていませんか。 ■取付枠のパッキンなどで室外側の吸込口や吹出口をふさいでいませんか。

電源を入れたときや停電のときには本体の運転ランプが点滅します	■運転中に停電したとき すべての運転を停止します。通電が再開すると、本体の運転ランプが点滅してお知らせします。運転をつづけたいときは、あらためて運転/停止ボタンを押しなおしてください。	■タイマーセット中に停電したとき タイマー予約は取消しとなり、本体のタイマーランプも消灯します。通電再開後、再度セットしなおしてください。
運転中誤作動したとき	■万一、カミナリ・カー無線などにより誤作動したとき コンセントから電源プラグを抜き、もう一度差しこみなおしてから、運転/停止ボタンを押しなおしてください。	

19 仕　様

項目			値	
型式			CWH-A1811	
種類			ウインド形・冷房・ヒートポンプ暖房兼用形	
電源			単相 100V　50/60Hz	
冷房	能力 (kW)		1.6 ／ 1.8	
	消費電力 (W)		620 ／ 725	
	エネルギー消費効率 (COP)		2.58 ／ 2.48	
	運転電流 (A)		7.0 ／ 7.3	
	運転音 (dB)		室内　45 ／ 46	室外　48 ／ 49
	面積の目安 (m^2)	鉄筋アパート南向き洋室	11 ／ 12	
		木造南向き和室	7 ／ 8	
暖房	標準能力 (kW)		1.8 ／ 2.2	
	標準消費電力 (W)		575 ／ 680	
	エネルギー消費効率 (COP)		3.13 ／ 3.24	
	運転電流 (A)		6.5 ／ 6.9	
	低温能力 (kW)		1.2 ／ 1.4	
	低温消費電力 (W)		490 ／ 570	
	運転音 (dB)		室内　46 ／ 46	室外　50 ／ 51
	面積の目安 (m^2)	鉄筋アパート南向き洋室	8 ／ 10	
		木造南向き和室	7 ／ 8	
冷暖房平均COP			2.86 ／ 2.86	
通年エネルギー消費効率 (APF)			2.3 ／ 2.3	
始動電流 (A)			28 ／ 25	
質量 (kg)			24	
外形寸法（高さ×幅×奥行）(mm)			780×360×222	
付属品			標準取付枠・リモコン・乾電池(単4形 2個)	

■この仕様値は JIS 規格（JIS C9612）にもとづいて表示してあります。
■エネルギー消費効率 (COP) の数値は、冷房運転または暖房運転のときの消費電力1kW あたりの冷房・暖房能力 (kW) を表したものです。
■通年エネルギー消費効率 (APF) の数値は、 1年間を通してある一定の条件の下にエアコンを運転したときの消費電力1kW あたりの冷房・暖房能力 (kW) を表したものです。
■この製品は改良のため仕様の一部が変わることがあります。
■長期間お使いにならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。リモコンで運転を「停止」していても約0.6W の電力を消費します。

20 修理・保証

修理サービスについて

■ルームエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切後10年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。くわしくはお買いあげの販売店またはお近くのコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。
■保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜いたのち、お買いあげの販売店またはコロナサービスセンターにご連絡ください。
ご連絡の際には、つぎの５点をはっきりとご連絡ください。

■型式（品番）（本体銘板（☞5ページ）または保証書をごらんください。）
■お買いあげ日（保証書をごらんください。）
■ご住所・ご氏名・お電話番号
■故障内容（ランプが点滅しているかを確認してください。）
■訪問ご希望日

保証書について

このコロナルームエアコンには「保証書」が付いています。
■保証書はお買いあげの販売店でお渡しいたしますので、必ずお受け取りください。
万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無料修理いたしますので、保証書記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。
■保証書にお買いあげ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。
もし記入がないときは、すぐにお買いあげの販売店にお申し出ください。
■このコロナルームエアコンの保証期間はお買いあげいただいた日から１年（ただし、冷却装置の保証期間は５年）です。保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をごらんください。
■この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

■エアコン廃棄時にご注意願います。

ウインドエアコンには最大で CO_2（温暖化ガス）900kg に相当するフロン類が封入されています。
地球温暖化防止のため、修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。

【冷媒の見える化表示について】

この表示は、ウインドエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。〈廃棄時には家電リサイクル法の制度に基づき適正な引き渡しをしていただければ、確実にフロン類の適正処理がなされます〉

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのルームエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化など料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

ご相談先　お客様ご相談窓口一覧表をごらんください。

21 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

■経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体の銘板近傍におこなっています。

【製造年】（本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります）

【設計上の標準使用期間】　10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

【標準使用条件】 ルームエアコンディショナの設計上の標準使用期間を設定するための標準使用条件による（JIS C 9921-3）

区分	項目	条件
環境条件	電源電圧	定格表示電圧による
	周波数	定格表示周波数による
	冷房室内温度	27℃（乾球温度）
	冷房室内湿度	47%（湿球温度19℃）
	冷房室外温度	35℃（乾球温度）
	冷房室外湿度	40%（湿球温度24℃）
	暖房室内温度	20℃（乾球温度）
	暖房室内湿度	59%（湿球温度15℃）
	暖房室外温度	7℃　（乾球温度）
	暖房室外湿度	87%（湿球温度 6℃）
	設置条件	機器の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	機器能力に見合った広さの部屋（畳数）
想定時間	1年あたりの使用日数	東京モデル 冷房　6月2日から9月21日までの112日間 暖房　10月28日から4月14日までの169日間
	1日あたりの使用時間	冷房　9時間/日 暖房　7時間/日
	1年間の使用時間	冷房　1,008時間/年 暖房　1,183時間/年

■設計上の標準使用期間とは、運転時間や温湿度など、左記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

ご注意

■設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。
■設置状況や環境、使用頻度が左記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

お客様ご相談窓口一覧表

修理サービスや製品についてのご相談は機種名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記のご相談窓口にご依頼ください。

ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、下記のお近くの窓口にご相談ください。
名称、所在地、電話番号は、変更する場合がありますのでご了承ください。

●アフターサービスのお問い合わせは下記へどうぞ

コロナサービスセンター
0120-919-302
（修理受付専用ダイヤル）
FAX 0120-919-322

携帯電話・PHS等からは最寄のサービスセンターへ直接おかけください。

地区	名称	所在地	〒	TEL	FAX
北海道地区	札幌支店	札幌市白石区平和通16丁目南1-19	〒003-0028	TEL(011)864－0440(代表)	FAX(011)863－3154
	札幌サービスセンター	札幌市白石区米里3条2丁目6-25	〒003-0873	TEL(011)879－2121(代表)	FAX(011)871－2400
	函館営業所	函館市西桔梗町21-2	〒041-0824	TEL(0138)48－6070(代表)	FAX(0138)48－6080
	旭川営業所	旭川市東旭川南1条2丁目2-5	〒078-8261	TEL(0166)37－2330(代表)	FAX(0166)37－2338
	帯広営業所	帯広市西18条北1丁目17-1	〒080-0048	TEL(0155)35－7518(代表)	FAX(0155)35－7510
	釧路営業所	釧路市花園町4-17	〒085-0038	TEL(0154)24－4191(代表)	FAX(0154)24－0451
	北見営業所	北見市美芳町9-1-30	〒090-0064	TEL(0157)26－2103(代表)	FAX(0157)26－2107
東北地区	青森支店	青森市古館1丁目12-38	〒030-0946	TEL(017)742－8255(代表)	FAX(017)742－8275
	青森サービスセンター	青森市古館1丁目12-38	〒030-0946	TEL(017)743－2971(代表)	FAX(017)743－1118
	秋田営業所	秋田市泉中央4丁目4-18	〒010-0917	TEL(018)864－5671(代表)	FAX(018)864－8468
	秋田サービスセンター	秋田市外旭川三千刈109-1	〒010-0802	TEL(018)864－5219(代表)	FAX(018)864－5760
	八戸営業所	八戸市売市4丁目4-7	〒031-0073	TEL(0178)24－5289(代表)	FAX(0178)45－4290
	八戸サービスセンター	八戸市売市4丁目4-7	〒031-0073	TEL(0178)47－6609(代表)	FAX(0178)71－1344
	弘前営業所	弘前市田園1-2-1	〒036-8086	TEL(0172)28－3910(代表)	FAX(0172)28－0191
	弘前サービスセンター	弘前市田園1-2-1	〒036-8086	TEL(0172)26－4770(代表)	FAX(0172)29－1133
	盛岡営業所	盛岡市門2-1-42	〒020-0823	TEL(019)622－4791(代表)	FAX(019)622－5244
	盛岡サービスセンター	盛岡市門2-1-42	〒020-0823	TEL(019)604－0281(代表)	FAX(019)604－0283
	水沢営業所	奥州市水沢区水沢工業団地4丁目79	〒023-0002	TEL(0197)22－4155(代表)	FAX(0197)22－4452
	仙台支店	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-32	〒983-0035	TEL(022)235－3181(代表)	FAX(022)236－8810
	仙台サービスセンター	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-31	〒983-0035	TEL(022)783－1791(代表)	FAX(022)783－1792
	郡山営業所	郡山市亀田1-51-9	〒963-8033	TEL(024)938－2240(代表)	FAX(024)938－3021
	山形営業所	山形市東青田3-6-28	〒990-2423	TEL(023)642－3255(代表)	FAX(023)642－3254
	庄内営業所	酒田市錦町1-183-1	〒998-0103	TEL(0234)31－0571(代表)	FAX(0234)31－0581
関東地区	首都圏支店	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3927－1151(代表)	FAX(03)3927－1160
	首都圏サービスセンター	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3911－1131(代表)	FAX(03)3927－1130
	東京営業所	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3927－1152(代表)	FAX(03)3927－1160
	立川営業所	立川市高松町1-22-3	〒190-0011	TEL(042)519－5271(代表)	FAX(042)528－2382
	千葉営業所	松戸市高塚新田95-5	〒270-2222	TEL(047)312－8330(代表)	FAX(047)312－8338
	横浜営業所	横浜市戸塚区原宿4丁目7-13	〒245-0063	TEL(045)852－4008(代表)	FAX(045)852－5540
	甲府営業所	山梨県中巨摩郡昭和町西条2491-2	〒409-3866	TEL(055)268－1567(代表)	FAX(055)268－1569
	北関東支店	さいたま市北区宮原町1-674-2	〒331-0812	TEL(048)651－1722(代表)	FAX(048)651－6370
	さいたま営業所	さいたま市北区宮原町1-674-2	〒331-0812	TEL(048)651－1231(代表)	FAX(048)651－6370
	高崎営業所	高崎市問屋町西1-3-22	〒370-0007	TEL(027)361－4806(代表)	FAX(027)361－9139
	宇都宮営業所	宇都宮市簗瀬町2313	〒321-0933	TEL(028)632－5105(代表)	FAX(028)632－5205
	太田営業所	太田市高林東町2375	〒373-0825	TEL(0276)38－6571(代表)	FAX(0276)38－5508
	水戸営業所	水戸市笠原町653-2	〒310-0852	TEL(029)241－2172(代表)	FAX(029)241－4268
	つくば営業所	つくば市谷田部6788-19	〒305-0861	TEL(029)839－5325(代表)	FAX(029)836－1913
信越・北陸地区	新潟支店	三条市曲渕3-2-15	〒955-0864	TEL(0256)32－2126(代表)	FAX(0256)35－8519
	三条サービスセンター	三条市曲渕3-2-15	〒955-0864	TEL(0256)32－2129(代表)	FAX(0256)32－2137
	新潟東営業所	新潟市東区江南1-6-41	〒950-0855	TEL(025)286－9131(代表)	FAX(025)286－3313
	長野営業所	長野市大豆島5312	〒381-0022	TEL(026)221－5111(代表)	FAX(026)221－0039
	松本営業所	松本市笹賀大久保原7852	〒399-0033	TEL(0263)26－0051(代表)	FAX(0263)25－9961
	金沢支店	金沢市駅西新町1-1-25	〒920-0027	TEL(076)260－0567(代表)	FAX(076)260－0775
	金沢サービスセンター	金沢市駅西新町1-1-25	〒920-0027	TEL(076)260－0038(代表)	FAX(076)260－0738
	富山営業所	富山市田中町2-3-15	〒930-0985	TEL(076)444－0567(代表)	FAX(076)444－0611
	福井営業所	福井市和田東1-607	〒918-8237	TEL(0776)23－0567(代表)	FAX(0776)23－0580
東海地区	名古屋支店	名古屋市熱田区桜田町16-11	〒456-0004	TEL(052)746－6600(代表)	FAX(052)884－6551
	名古屋サービスセンター	名古屋市熱田区桜田町16-11	〒456-0004	TEL(052)746－6603(代表)	FAX(052)884－6554
	静岡営業所	静岡市駿河区高松2-15-30	〒422-8034	TEL(054)238－0005(代表)	FAX(054)238－0006
	岐阜営業所	岐阜市六条南2-7-8	〒500-8358	TEL(058)268－7555(代表)	FAX(058)268－7550
	津営業所	津市高茶屋3-29-38	〒514-0819	TEL(059)234－8471(代表)	FAX(059)234－8472
	沼津営業所	沼津市西椎路888-1	〒410-0303	TEL(055)968－6210(代表)	FAX(055)968－6212
近畿・四国地区	大阪支店	吹田市南金田1-8-47	〒564-0044	TEL(06)6380－2111(代表)	FAX(06)6386－7262
	大阪サービスセンター	吹田市南金田1-8-47	〒564-0044	TEL(06)6386－5670(代表)	FAX(06)6386－5588
	高松営業所	高松市今里町1-8-5	〒760-0078	TEL(087)835－1711(代表)	FAX(087)835－0160
	京都営業所	京都市伏見区竹田段ノ川原町70-1	〒612-8414	TEL(075)643－2002(代表)	FAX(075)643－0870
	神戸営業所	神戸市西区枝吉5-132	〒651-2133	TEL(078)922－2431(代表)	FAX(078)922－2438
	彦根営業所	彦根市正法寺町南出78	〒522-0024	TEL(0749)24－6239(代表)	FAX(0749)26－2116
	福知山営業所	福知山市荒河東町68	〒620-0061	TEL(0773)22－0827(代表)	FAX(0773)23－7592
中国地区	広島支店	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-0138	TEL(082)871－3310(代表)	FAX(082)871－3306
	広島サービスセンター	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-0138	TEL(082)871－3315(代表)	FAX(082)871－0272
	岡山営業所	岡山市北区辰巳35-103	〒700-0976	TEL(086)243－7751(代表)	FAX(086)243－7191
	米子営業所	米子市目久美町235-1	〒683-0035	TEL(0859)33－8157(代表)	FAX(0859)23－0709
	徳山営業所	周南市徳山字一ノ井手5631-4	〒745-0882	TEL(0834)22－5567(代表)	FAX(0834)22－5589
九州地区	福岡支店	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812-0007	TEL(092)474－5771(代表)	FAX(092)474－5775
	福岡サービスセンター	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812-0007	TEL(092)474－6001(代表)	FAX(092)474－6414
	北九州営業所	北九州市小倉北区愛宕2-6-4	〒803-0828	TEL(093)592－8611(代表)	FAX(093)592－8666
	鹿児島営業所	鹿児島市田上7-16-5	〒890-0034	TEL(099)281－1321(代表)	FAX(099)281－1252
	熊本営業所	熊本市尾ノ上1-11-12	〒862-0913	TEL(096)367－7361(代表)	FAX(096)369－6323
	長崎営業所	長崎県西彼杵郡時津町左底郷浜田74-1	〒851-2106	TEL(095)882－7710(代表)	FAX(095)882－7767
	宮崎営業所	宮崎市霧島3-59-2	〒880-0032	TEL(0985)29－1680(代表)	FAX(0985)25－0685
	大分営業所	大分市三佐1-19-7	〒870-0108	TEL(097)523－5161(代表)	FAX(097)523－5162
沖縄地区	沖縄営業所	宜野湾市宇地泊738 シーサイド・パーク102	〒901-2227	TEL(098)897－5677(代表)	FAX(098)897－5679

07129002

本社・工場	三条市東新保7-7	〒955-8510	TEL(0256)32－2111(大代表)
柏崎工場	柏崎市宝町2-58	〒945-0817	TEL(0257)23－5175(代表)
長岡工場	長岡市下条町倉ノ浦1069	〒940-1146	TEL(0258)22－2121(代表)

愛情点検　長年ご使用のエアコンの点検を！

●エアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年です。

このような症状はありませんか

- ■ 電源コードやプラグが異常に熱い
- ■ こげくさい臭いがする
- ■ エアコンから水もれがする
- ■ 電源プラグやコンセントが変色している
- ■ ヒューズやブレーカーがひんぱんに切れる
- ■ 運転音が異常に高くなる
- ■ 本体のスイッチやリモコンの操作が不確実
- ■ その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。
点検・修理について詳しいことはお買いあげの販売店にご相談ください。

132WA0419- 0 1 2 3 dsp 23

株式会社コロナ
ホームページ　http://www.corona.co.jp/